

商工会地域の景況感は製造業が厳しくなるも、サービス業、小売業は改善傾向が見られる！

—2021年10月～12月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が12月13日に発表した12月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業がプラス18と、前回の9月調査と横ばいとなった。2020年6月にマイナス34まで大きく低下したあと、5四半期連続で改善していたが、今期は横ばいとなった。新型コロナウイルスの感染者が減ったが、世界的な物流の混乱が続く中、エネルギー価格の上昇も重なり、コストが上昇したことが影響した。大企業・非製造業はプラス9で、前回調査と比べて7ポイント改善した。これで6四半期連続で改善している。緊急事態宣言が解除されるとともにコロナワクチンの接種も進み、接客業の需要が持ち直したが、コロナ禍前の水準（2019年12月のプラス20）と比べると、まだ低い状況が続いている。

中小企業の業況判断指数は、製造業が2ポイント改善しマイナス1、非製造業は6ポイント改善しマイナス4となった。景気回復の動きが徐々に中小企業にも波及し、製造業、非製造業ともに改善したものの、大企業に比べると水準は低い。また、エネルギー価格の上昇などコスト高の影響も大企業に比べて大きい。

3か月後の先行きの見通し（2022年3月予測）は、大企業・製造業がプラス13と今期より5ポイントの悪化、非製造業ではプラス8と1ポイントの悪化を見込んでいる。景気を左右する今後の感染症の動向やエネルギー価格の行方が見通しにくいことから、先行きを慎重に判断する企業が多く見られる。中小企業では、製造業が横ばいのマイナス1、非製造業では2ポイント悪化のマイナス6と

なっている。いずれも、コロナ禍からの本格的回復にはしばらく時間がかかると見込んでいる。

内閣府が2021年12月21日に発表した12月の月例経済報告において、「景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きが見られる。」との総括判断を示し、1年5ヶ月ぶりに上方修正した。緊急事態宣言の解除で個人消費の改善が続き、企業の景況感も回復した。項目別では「個人消費」、「業況判断」、「雇用情勢」の3項目を引き上げた。景気の先行きは、持ち直しが続くとの期待の一方で変異株（オミクロン型）の拡大影響にも触れている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2021年10月～12月）の業況に関するD・I値は、サービス業がマイナス52.9から15.6ポイント改善しマイナス37.3、小売業がマイナス52.5から15.0ポイント改善しマイナス37.5、建設業がマイナス33.4から1.4ポイント改善しマイナス32.0となっている。しかし、前期において唯一改善していた製造業はマイナス18.7から13.6ポイント悪化させてマイナス32.3となっている。

来期（2022年1月～3月期）の業況予測は、サービス業が今期実績よりもさらに21.6ポイント改善しマイナス15.7と予測している。小売業も今期実績より4.2ポイントと小幅ながら改善しマイナス33.3を予測、今期悪化した製造業も18.5ポイント改善しマイナス13.8を予測している。建設業だけは今期実績より7.2ポイント悪化させ、マイナス39.2を予測している。

業界天気動向図

項目 年 月 業種	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2021 1 月	4 月	7 月	10 月	2021 1 月	4 月	7 月	10 月	2021 1 月	4 月	7 月	10 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D I 値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位		2位						
製造業	1位		2位						
1位にあげる問題点	原材料価格の上昇		生産設備の不足・老朽化、製品（加工）単価の低下、上昇難、従業員の確保難、需要の停滞						
前期	16.7	23.3	10.0						
建設業	1位		2位	3位	4位				
1位にあげる問題点	材料価格の上昇		従業員の確保難	材料の入手難	請負単価の低下、上昇難、民間需要の停滞、その他				
前期	16.0	33.3	20.0	16.7	8.0	12.5	10.0	8.3	
小売業	1位		4位		5位				
1位にあげる問題点	大型店・中型店の進出による競争の激化、消費者ニーズの変化、需要の停滞		仕入単価の上昇		購買力の多地域への流出、その他				
前期	15.0		10.3		12.5		12.8	10.0	
サービス業	1位		2位		4位				
1位にあげる問題点	需要の停滞		利用者ニーズの変化、店舗施設の狭隘・老朽化		材料等仕入単価の上昇		その他		
前期	42.9	42.9	43.8	12.5		6.1	8.3	14.3	6.3